

火山ハザードマップの概要

■「火山ハザードマップ」とは

- 危険な火山現象の影響が及ぶおそれのある範囲を地図上に明示したもの
- 平常時には避難計画を、噴火時には防災対応を検討するための基礎資料
- マップに示された範囲は特定の条件に基づいた事例のため、全く同じ現象が起きるとは限らないことに注意が必要

■作成方法

- 噴火実績や火山専門家等による検討を踏まえ作成

■作成内容

	火山現象	作成概要
八丈島 (西山)	想定火口位置	想定火口位置：山頂、山腹、海域 噴火様式：マグマ噴火、マグマ水蒸気噴火
	大きな噴石	
	火砕サージ ※高速の砂嵐のような現象	
	火山灰 (小さな噴石含む)	噴火規模：3種類
	溶岩流	溶岩流の計算開始点：12カ所
青ヶ島	想定火口位置	想定火口位置：山頂、山腹、海域 噴火様式：マグマ噴火、マグマ水蒸気噴火
	大きな噴石	
	火砕サージ ※高速の砂嵐のような現象	噴火規模：2種類
	火山灰 (小さな噴石含む)	

(参考) 八丈島・青ヶ島の概要、火山現象の解説

■八丈島・青ヶ島の概要

八丈島	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 東山と西山の2火山が接合した火山 ➤ 東山は少なくとも約5万年前～約3,700年前まで活動 ➤ 西山は約1万数千年前から活動 ➤ 有史以降、17世紀までに数回の活動記録 ➤ 直近の噴火は1605年
青ヶ島	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 大きな海底火山の山頂部 ➤ 直径1.5～1.7kmのカルデラ (池の沢火口) ➤ 直近の噴火は1785年 (居住者の約4割死亡 (推定)、残り八丈島に避難、以降50年余無人島)

■火山現象の解説

火山現象	解説
想定火口位置	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 噴火が発生する場合に想定される火口の位置 ➤ 火口位置によって噴火様式 (マグマ噴火、マグマ水蒸気噴火など) が異なることがある。
大きな噴石	➤ 風の影響を受けずに火口から弾道を描いて飛散する直径数十cm以上の岩石等
小さな噴石・火山灰	➤ 風の影響を受けて火口から遠方まで飛散する小さな固形物 (直径2mm未満が火山灰)
溶岩流	➤ 火口から噴出したマグマが山腹を流下する現象
火砕サージ	➤ 火砕流の周囲や噴煙柱の基部から発生する高速の砂嵐のような現象